

学習の流れが見える紙面デザイン

生徒に分かりやすく、先生には指導しやすいデザインを目指しました。
各節の紙面は、基本要素を学習の流れに合うように配置し、全ページで統一しています。

1 章 生活や社会を支える材料と加工の技術

1 身の回りの材料と加工の技術

目標 ① □生活や社会を支えている材料と加工の技術を知る。
□身の回りの製品の材料と加工について調べ、まとめることができる。

レッツスタート ②

学習課題 ③ **材料と加工の技術にはどのようなものがあるだろうか。**

本文、図版 ④

学習の流れに沿ったレイアウトだから分かりやすいね。

表1 さまざまな材料と用途の例

材料	用途例
木材	家具、住宅、箸（食器）
金属	刀物、自動車、缶
プラスチック	ペットボトル、保冷箱
ガラス	窓、コップ
コンクリート	ダム、橋脚
セラミックス	食器類
ゴム	タイヤ、靴の底

他教科 理科1年 | 物の調べ方
p.30 | 材料の特性と加工方法

図1 学校の机に使用されている材料の例

使われる場所や使われ方によって材料が選んでいるね。

- プラスチック
 - 物入れ
 - 脚の先
- 木材
 - 天板
- 金属
 - 脚
 - フック

28 **技術の工夫** かまどベンチ 近年、災害時に役に立つ機能をもった公共物が増えています。その1つに「かまどベンチ」があります。かまどベンチは、ふだんは公園などで誰もが利用することができるベンチですが、災害時には炊き出しができるかまどとして利用できます。

▲(教)p.28-29

▶ 材料の加工

どのようにして、材料から製品を作るのかな。

製品を作るためには、材料を目的の大きさや形に変えたり、組み立てたりする必要があります。これを**加工**と5いいます。加工には、切断・切削、変形、接合などがあります（**図2**）。

図2 学校の机に使用されている材料の加工の例



▶ 調べてみよう

身の回りの製品に使われている材料とその加工方法
身の回りの製品を1つ選び、どのような材料を、どのように加工して作られているかを調べよう。



まとめよう 身の回りで使われている材料と加工の技術にはどのようなものがあるかをまとめよう。



QRコードは、見開きごとに設けました。読み取ると、関連するQRコンテンツのリストが表示され、簡単にアクセスできます。



Dマーク

関連するQRコンテンツがある目印です。

- ▶ 本誌 p.16-17
- ▶ 内容解説資料① 『簡単！使える！東京書籍のQRコンテンツ』

5 活動

6 まとめの活動

1

資質・能力の明確化
目標

育成すべき資質・能力を、各節の冒頭に「目標」として明確に示しました。指導と評価の一体化を図っています。



2

学習課題につなげる
レッツスタート

各節に、学習の導入となる簡単な活動「レッツスタート」を設けました。学習内容への関心を高め、「学習課題」へとつなぎます。

レッツスタート

3

学びに向かう「問い」
学習課題

主体的に学びに向かう手がかりとして、節での学習内容を明確にする「学習課題」を新設しました。



4

より分かりやすく
本文、図版

本文を左側に固定しました。流れが捉えやすくなり、学習者用デジタル教科書を単ページで表示する場合も見やすくなっています。文章や図版は、情報を精選し、再整理しました。

5

深い学びを促す
活動

学習内容に沿って主体的・対話的に取り組める「活動」を設けています。取り組む際に活用できるQRコンテンツも多数あります。

- 💡 考えてみよう
- 👉 やってみよう
- 🔍 調べてみよう
- 🗨️ 話し合ってみよう

6

まとめる、次につなげる
まとめの活動

各節の最後に、節の学習内容をまとめたり、次の学習につなげたりする「まとめの活動」を設けています。

- 📌 まとめよう
- 🔄 振り返ろう
- 📖 深めよう